

## 平成30年桜井宇陀広域連合議会第2回定例会報告

桜井宇陀広域連合議会第2回定例会が、平成30年11月12日（月）午前10時45分から桜井市議会議場において開催されました。

菊岡議長の開会宣言、松井広域連合長の招集挨拶ののち、議事日程により、会議録署名議員の指名、会期の決定、広域連合長の提出議案の理由説明がありました。



当日付議された議案は、「平成29年度桜井宇陀広域連合一般会計決算認定について」、「平成29年度桜井宇陀広域連合ふるさと市町村圏基金特別会計決算認定について」及び「平成29年度介護保険特別会計決算認定について」の3件で、監査委員の審査意見や関係資料をつけて認定に付されました。

認第1号の「一般会計決算」は、歳入総額1,547万4,811円、歳出総額1,325万6,398円で、差引額、及び実質収支額ともに221万8,413円の黒字となり、平成30年度へ繰り越しております。

この会計の主な執行経費は、広域連合の運営費、並びに障害程度区分認定審査会運営経費などです。

認第2号の「ふるさと市町村圏基金特別会計決算」は、歳入総額1,136万8,867円、歳出総額891万3,590円、差引額、及び実質収支額ともに245万5,277円の黒字となり、平成30年度へ繰り越しております。

歳入では、構成市村からの負担金が400万円、基金運用利息が337万7,160円、平成28年度からの繰越金337万4,107円、諸収入がスポーツ振興くじ助成金等の61万7,600円となっており、歳出では、当初計画に基づき、歴史・文化、観光などの情報発信や、ふるさと振興事業など、圏域の発展や活性化にむけた事業費891万3,590円となっています。

認第3号の「介護保険特別会計決算」では、歳入総額が5,955万9,403円、歳出総額が5,183万3,939円、差引額及び実質収支額ともに772万5,464円の黒字となり、平成30年度へ繰り越しております。

この会計は、介護保険法に基づく介護認定審査会運営経費、及び職員の給与などで、繰越金は、今後、必要となる介護システムの更新やシステム改修などに対応するための経費にあてるためのもので、構成市村に新たな負担を求めることなく、この繰越金をもとに対応していく、との説明がありました。

各決算議案について慎重に審議したのち採決に移り、いずれも原案どおり認定されました。

なお、定例会に先立ち、午前9時30分から全員協議会が開催され、菊岡議長の招集あいさつの後、本定例会への提出案件である議案、「平成29年度の桜井宇陀広域連合各会計歳入歳出決算及び事務事業概要」などについて事務局から説明がありました。

以上、今期定例会は、当日提出された全ての議案の審議を終え、午前11時26分に閉会いたしました。

## 桜井宇陀広域連合議会 平成30年度議員研修 報告

桜井宇陀広域連合議会の平成30年度議員研修会が、11月19日（月）午後  
に開催されました。

今回の研修につきましては、桜井宇陀広域連合議会議員14名全員と、宇陀  
市議会、桜井市議会の有志議員5名の合計19名参加のもと、「保養センター美  
榛苑」会議室にて開催されました。

今回の議員研修は、「市町村議会議員政策形成セミナー」をテーマに一般社団  
法人自治研修協会の助成を受け、同協会から株式会社ローカルファースト研究  
所代表取締役 関幸子（せきさちこ）先生の派遣を受けて実施されました。

講師先生からは、これからの人口減少時代の議会の役割についての講義を受け、  
その後は講義で説明いただいたことについて質問などがあり、その都度、的確  
かつ丁寧な回答をいただくなど、有意義な研修となりました。

